

中央線沿線を舞台に多彩なアートプログラムを展開する回遊型芸術祭 『Center line art festival Tokyo 2025』開催 会期:2025年9月11日(木)～11月3日(月・祝)

一般社団法人Co-production of art Works-M(東京都小金井市前原町)は、2025年9月11日(木)～11月3日(月・祝)の期間にわたり、中央線沿線の各駅を舞台とした回遊型芸術祭『Center line art festival Tokyo 2025』(以下、ClafT)を開催いたします。

本フェスティバルは、2021年にスタートし、今年で第5回目の開催を迎えます。通称「中央線芸術祭」として親しまれており、中野駅から国立駅の間に点在するアトスペースやイベント施設を主に活用し、美術展示・パフォーマンス・ワークショップ・トークイベントなど、多彩なプログラムを展開します。

各駅を巡る形式を通じて、人と人、人と街、街と街をつなぎ、中央線沿線という日常空間に“アートを紹介した小さな旅”を創出することを目的としています。



2025年のテーマは「Release of Place / Body」。場所とからだとの関わりについて、アーティスト、来場者、地域住民と共に再考し、それぞれがインタラクティブに解放される時間と空間を生み出します。今年は9つ国と地域から56名のアーティストが参加し、沿線16会場にて計20のプログラムを実施予定です。

特に、毎年好評のパフォーマンスプログラムは過去最多となる9本を予定しており、今年のClafTも見応えある構成となっております。

会期中は、共通入場チケット「ClafT PASS」をご購入いただくことで、有料展示会場へ何度でも入場可能。さらに、ClafT PASSをご提示いただくと、パフォーマンスプログラムのご入場が500円引きになる特典もございます。なお、複数プログラムが無料となっており、どなたでもご参加いただけますので、気軽にお立ち寄りいただき、アートを通じた中央線沿線の旅をお楽しみください。

各プログラムおよびチケットに関する詳細は、下記開催概要および公式ウェブサイト(<https://claft.jp/>)をご確認ください。





開催プログラム

中野・高円寺・武蔵境・武蔵小金井・国分寺・国立・一橋学園 各駅周辺施設16会場・20プログラム

□プレプログラム

戴飴霏展「境界感 / Urban Boundaries」
9月2日(火)～10月5日(日) @ 座・高円寺

□小金井エリア

(ClafT 2025 at Koganei International)
MUSAKO ART GATE
9月11日(木)～15日(月・祝) @ 小金井 宮地楽器ホール
小ホール「Space/Body」、マルチパーパススペース A・B・C「Environment/Body」
マルチパーパススペースD「Urban/Body」、市民ギャラリー「Media/Body」、和室「Nature/Body」

KOGANEI ART FARM

9月11日(木)～21日(日) @ わくわく都民農園 小金井・大久保園

Space Sharing Program

9月17日(水)～21日(日) @ KOGANEI ART SPOT シャトー2F

Anastasiya Hamaguchi 個展「(Remain) Unexplained」

9月17日(水)～21日(日) @ gallery Cajio

市民展示 みんなのアート

9月17日(水)～21日(日) @ 小金井 宮地楽器ホール マルチパーパススペース D

SoCoLArt! LIVE!!

9月20日(土) @ SOCOLA 武蔵小金井クロス クロスコート/フェスティバルコート

□国立・国分寺・小平エリア

momoka_nakayama 個展「Washing the Secrets, Gently」

9月23日(火・祝)～28日(日) @ Open Art Platform 「iru」

岩渕貞太「リバーズ・エッジ」

9月27日(土) @ 沖本家住宅 和館

Joanna Rosenfeld インスタレーション/パフォーマンス「Memoria」

10月4日(土) @ Open Art Platform 「iru」

落語プログラム「柳家小もん独演会」

10月5日(日) @ Open Art Platform 「iru」

阿目虎南 個展・パフォーマンス「神に愛された孤高の天才舞踏家、その外郭と内燃」

10月7日(火)～13日(月・祝) @ Open Art Platform 「iru」

藤生百音 個展「余白に鳥はうたう」

10月10日(金)～13日(月・祝) @ 沖本家住宅 和館

三浦晃 写真展「Musashino Landscape」

10月10日(金)～13日(月・祝) @ 旧国立駅舎



開催プログラム

□武蔵野エリア

ClafT 2025 関連プログラム「かたる、きく、ひらく」

10月18日(土) @ 武蔵野プレイス

アートシンポジウム「場所とアート」 / アーティストトーク「からだとアート」

□杉並・中野エリア

銀色なつみ 個展「GRAY ROOM」

10月23日(木)～27日(月) @ GALLERY SUMMER of LOVE

金咲淑・鈴木誌織 二人展「孤独な散歩者の日常」

10月24日(金)～28日(火) @ ギャラリー・ジュイエ

榎本大翔 個展「埋もれる時間 / Time to be Buried.」

10月24日(金)～29日(水) @ “meeee” Gallery Tokyo

鯨井謙太郎 パフォーマンス「真空地図」

10月25日(土)～26日(日) @ 水性

クロージングプログラム Performance「物体と人物と、」

11月1日(土)～3日(月・祝) @ 水性

11月1日(土) 架空カンパニーあしもと「その距離(あるいは幻)について」

11月2日(日) BAZAR「@待合室」

11月3日(月・祝) 水越朋「KAIKOH project in association with ClafT2025」



参加アーティスト

a.c m-laboratory / 安達香澄 / Anastasiya Hamaguchi / 天草ミオ / 阿目虎南 / Aokid / Art unit Works-M / Barbara Kuhn / BAZAR / Beatrice Melo / Daiki Toyama / Daniel Monsalve / 土井健史 / 榎本大翔 / 藤生百音 / 深浦よしえ / 銀色なつみ / 架空カンパニーあしもと / 萩原健也 / 平岡真生 / 黄綺樺 / 市松 / 石井壽郎 / 入口可奈子 / 岩渕貞太 / 岩塚一恵 / Joanna Rosenfeld / 角田聡子 / 菊沢将憲 / 金咲淑 / 近藤唯士 / 鯨井謙太郎 / 丸山武彦 / 松村寛季 / 三浦宏之 / 宮本悠加 / 水越朋 / momoka_nakayama / 森有未 / 中島ひまり / 越智波留香 / Pino Heye / Raquel Uendi / 坂間真実 / 三本木 敏 / 染谷樹 / 鈴木誌織 / スズキタイト / 戴飴霏 / 竹下勇馬 / 上野悠河 / 上村なおか / 柳家小もん / 山村佑理 / 船橋陽 / (学生出展 梓) 三浦晃

入場方法

本フェスティバルは入場・参加無料プログラムと、ClafT PASSのご提示が必要なプログラムがございます。またパフォーマンスプログラム鑑賞時には別途入場料を頂戴いたします。

詳細は下記をご覧ください。

<https://claft.jp/program/2025>

※パフォーマンスプログラムはClafT PASSのご提示で500円割引となります

※小学生以下は全てのプログラムが無料でご入場いただけます

※プログラム内容、各会場のオープン時間等については公式ウェブサイト

(<https://claft.jp/>)をご確認ください。





【Center line art festival Tokyo について】

Center line art festival Tokyo 【ClafT】は人と街をアートで繋ぐ、回遊型アートフェスティバルとして2021年にスタートしました。

毎年のフェスティバル開催にあたり「人・地域・世代を繋ぐ、芸術・文化の創造と発信のプラットフォーム」として、西東京・多摩地域における郊外文化を体系化してゆくとともに、都市から自然への文化のグラデーション化を図り、緩やかな繋がりを生み出してゆくことを目指しています。同時に、市民との共創によって地域社会と密接に関わりを持つ文化を創出し、東京の文化多層性と新たな魅力を世界に向けて発信してゆきます。

フェスティバル本祭会期では、中野から国立間における行政区間を超えた回遊型アートフェスティバルという形態で開催することにより、中央線沿線地域に「アートを介した小さな旅」というマイクロツーリズム・アートツーリズムを生み出してゆくことを目的としています。

『Center line art festival Tokyo 2025』開催概要(8月8日現在)

テーマ: Release of Place / Body

会期: 2025年9月11日(木)～11月3日(月・祝)

助成: アーツカウンシル東京[地域芸術文化活動応援助成]
芸術文化振興基金助成事業[超域的芸術創造活動]
公益財団法人野村財団

共催: 小金井市民交流センター 指定管理者 こがねいしてい共同事業体/小金井 宮地楽器ホール
NPO法人劇場創造ネットワーク / 座・高円寺

協賛: 株式会社グラフィック/多摩信用金庫

認定: 公益社団法人企業メセナ協議会

後援: ブリティッシュ・カウンシル/駐日韓国大使館 韓国文化院/駐日ブラジル大使館/駐日チリ大使館
奥多摩町/国立市/小金井市/国分寺市/小平市/杉並区/中野区/武蔵野市 (プレイベント含む)

協力: 一般社団法人小金井市観光まちおこし協会/大久保園/株式会社JR中央線コミュニティデザイン
株式会社ジェイアール東日本都市開発/水性/SOCOLA武蔵小金井クロス
多摩観光推進協議会/東京学芸大学石井研究室/特定非営利活動法人 国立市観光まちづくり協会

印刷協力: 株式会社グラフィック

企画: 中央線芸術祭実行委員会

新井智子(ギャラリスト/gallery Cajio)/石井壽郎(美術家)市松(演出家/パフォーマー)
越智波留香(日本画家/学芸員)/鹿野諒太(国立市観光まちづくり協会)
菊沢将憲(俳優/映画監督)/金咲淑(現代美術家)
田中麻美(ClafT事務局長/Works-M)/種生芽実(民間)
土井健史(現代美術家/大成建設株式会社)/福田利恵子(ギャラリスト/ギャラリー・ジュイエ)
前澤秀登(写真家/「水性」運営)
アドバイザー
高橋裕行(メディア・アート研究者 / 多摩美術大学)

運営: ClafT事務局、ClafTers(市民ボランティアスタッフ)

フェスティバルディレクター: 三浦宏之

主催: 一般社団法人Co-production of art Works-M

【広報用画像について】

本プレスリリースに掲載の画像5点は下記よりご使用ください。なお写真の使用に際しましてはトリミング・編集・文字載せはお控えください。
(<https://drive.google.com/drive/folders/1v2xSe4TNbWYNd7LKOqNVaFvDImFgfYwi?usp=sharing>)

【本件に関する問い合わせ連絡先】

本リリースに関する問い合わせ、および上記5点以外の画像も複数用意がございますので、下記連絡先へご一報いただけますと幸いです。また、随時取材等につきましてもお受けしておりますので、ぜひご検討いただけますようお願い致します。

Center line art festival Tokyo 2025

ClafT事務局 担当 田中

mail: artfes.clafT@gmail.com tel: 042-316-6103 fax: 042-316-6102 website: <https://clafT.jp>

アートで毎日が楽になる Center

line

art

festival

Tokyo

clafT.jp

